# 自己紹介

# 自己ＰＲ・あなたの長所

私は、タフな状況も、先頭に立ち楽しめる情熱がある人間です。私がサッカー部のキャプテンを務める中で、タフな状況でも情熱を持って立ち向かうことが重要だと実感したからです。学生時代に力を入れたことは、サッカー部のキャプテンとしてチームを3位入りに導いた経験があります。私が所属するサッカー部では、全20チームの中で学生サッカーリーグの3位以内を目指していたましたが、リーグ開催当初は3連敗に会い、チーム全体の雰囲気が悪くなっていまし。チームキャプテンだった私は、連敗の原因と食い止める方法を必死に考えました。具体的には、相手チームの特徴に合わせたプレイができていないこと、また3連敗したことでチームのモチベーションが低迷していることという2つの課題に突き止めました。以上の2つの課題について、それぞれ施策を考え、解決をしようしました。1つ目は、事前に全てのメンバーを集め、試合相手の強みと弱みを分析した上で相手チームに合わせて戦術を立てたことです。2つ目は、メンバー間のコミュニケーションを徹底し、積極的にチームメンバー同士で声を掛け合い続けたことです。その結果、次の試合で初勝利を獲得し、目標としていたリーグ3位入りを果たすことができました。この経験から、チームで目標を達成する喜びを知ることができ、どのような苦しい状況でも熱意を持って前向きに考え、行動することの大切さを学びました。

私は「貪欲に新しい知識を吸収するスポンジのような人間」です。海外発足のコンサルティング会社の長期インターンシップにおいて、ある商品の海外進出プロジェクトに携わった経験があります。その際に主に2つの業務を担当しました。1つ目は、商品の海外進出において、価格設定戦略を考えるために競合商品に関するデータを収集し、分析することです。2つ目は、バイリンガルスキルを活かし、中国語と日本語の間の翻訳を担当することです。担当業務を推進することにあたって、業界の専門用語やデータ分析手法を習得することが一番の難点でした。それについて、中国語の専門用語をまず英語に訳し理解してから、日本語に訳すことで翻訳の精度を向上させました。また、エクセルを使用したデータ分析手法を習得するために、動画を視聴したり実際に自分の手でデータを扱ったりすることで理解度を深めました。その結果、効率的にデータを分析し、翻訳の精度を高めることができ、上司や先輩からも高く評価されました。以上のような困難に立ち向かい成長してきた過去の経験から、これからの仕事においても、新しい知識や技術に常に触れ、自分自身を磨き続けたいと考えています。

# 学生時代に力を入れたこと（サッカー）

学生時代に、サッカー部のキャプテンとしてチームを3位入りに導いた経験があります。私が所属するサッカー部では、全20チームの中で学生サッカーリーグの3位以内を目指していたましたが、リーグ開催当初は3連敗に会い、チーム全体の雰囲気が悪くなっていまし。チームキャプテンだった私は、連敗の原因と食い止める方法を必死に考えました。具体的には、相手チームの特徴に合わせたプレーができていないこと、また3連敗したことでチームのモチベーションが低迷していることという2つの課題に突き止めました。以上の2つの課題について、それぞれ施策を考え、解決をしようしました。1つ目は、事前に全てのメンバーを集め、試合相手の強みと弱みを分析した上で相手チームに合わせて戦術を立てたことです。2つ目は、メンバー間のコミュニケーションを徹底し、積極的にチームメンバー同士で声を掛け合い続けたことです。その結果、次の試合で初勝利を獲得し、目標としていたリーグ3位入りを果たすことができました。この経験から、チームで目標を達成する喜びを知ることができ、どのような苦しい状況でも熱意を持って前向きに考え、行動することの大切さを学びました。

## リーダーとして難しかったこと

リーダーとして、難しいと思うことは2つあると思います。1つ目は、全員のモチベーションをいかに高められるかということです。2つ目は、全員のポジションを調整し、チーム最大限の力をいかに引き出せるかということです。

1つ目について、チームの中に、サッカーが好きでプレーする人、プ体を鍛えたい目的でプレーする人、大会に参加することで新たな人とのつながりを持ちたい人など、大会に参加する目的はチームメンバー皆異なります。そのため、異なる目標を持って試合に臨むと、チームのモチベーションが下がってしまいました。

怎么做➡ 選手たちに共通の目標を持たせるように工夫しました。具体的には、練習や試合のときだけでなく、それ以外の機会でも、みんなで集まって食事や映画に行くなどしてコミュニケーションの機会を増やし、お互いのことをより深く知り、チームの雰囲気を高めていったことです。チームの意識が高まり、選手たちはチームを次のステージ、すなわち試合に勝たなければならないというモチベーションが向上し、そうすることで全員の目標が一致するようになりました。

2つ目は、全員のポジションを調整し、チーム最大限の力をいかに引き出せるかということです。勝つためには、相手の特徴に合わせた戦術が必要であり、さらには選手のそれぞれの長所を発揮できる戦術に変え、人員配置などを決める必要がありました。

怎么做➡ 選手の実力を把握するために、試合やトレーニング中の映像を撮影し、繰り返し見て選手の特徴を分析しました。相手のスキルや自分のチームの選手の長所・短所をよく理解した上で、人員配置を考えました。

## リーダーに立つことが多いの？

チームリーダーになる機会は少なかったのですが、積極的に応募し、サッカー部のキャプテンになりました。理由は2つあると思います。1つ目は、私は小学校からサッカーを始め、10年以上サッカーを見続けているので、サッカーで使われるさまざまな戦術を、間違いなくチームの中で一番理解していると思います。そのため、トーナメントではチームを勝利に導くことができると信じていますので、応募しました。2つ目は、チームに貢献し、目標を達成し、メンバーの喜ぶ顔を見ると、達成感を感じるからです。チームが勝つために、自分がチームリーダーとして、チームを成功に導きたく、応募しました。

## この経験から学んだことは？

主に2つあります。1つ目は、リーグ最後の試合でチームが逆転し、大会ベスト3に入り、設定した目標が達成されたことから、最後まで頑張らないと何が起こるか分からないので、簡単にあきらめないことの大切さがわかりました。

2つ目は、チームメンバーの可能性を信じて、励まし合ったからこそ、逆転ができたと思います。この経験から、チームワークの可能性を信じ、チームにおけるコミュニケーションを取る重要性を学びました。

## この経験をどう仕事に活かせたい？（ITcon）

私は、これまでの経験で培ったチームワークの力を活かし、IT技術を通してチームまたはお客様に貢献していきたいと考えております。この職種はチーム戦ですので、多彩なメンバーと密にコミュニケーションを取りながら課題解決に挑戦したいと思います。

# 学生時代に力を入れたこと（長期インターシップ）

私は海外発足のコンサルティング会社の長期インターンシップにおいて、ある商品の海外進出プロジェクトに携わった経験があります。その際に主に2つの業務を担当しました。1つ目は、商品の海外進出において、価格設定戦略を考えるために競合商品に関するデータを収集し、分析することです。2つ目は、バイリンガルスキルを活かし、中国語と日本語の間の翻訳を担当することです。担当業務を推進することにあたって、業界の専門用語やデータ分析手法を習得することが一番の難点でした。それについて、中国語の専門用語をまず英語に訳し理解してから、日本語に訳すことで翻訳の精度を向上させました。また、エクセルを使用したデータ分析手法を習得するために、動画を視聴したり実際に自分の手でデータを扱ったりすることで理解度を深めました。その結果、効率的にデータを分析し、翻訳の精度を高めることができ、上司や先輩からも高く評価されました。以上のような困難に立ち向かい成長してきた過去の経験から、これからの仕事においても、新しい知識や技術に常に触れ、自分自身を磨き続けたいと考えています。

## 難しいと思ったこと

難しいと思うことは2つあると思います。1つ目は、業界の専門用語や特殊の用語の翻訳ということです。2つ目は、データ分析手法を習得するということです。

怎么做➡まず、中国語の専門用語をまず英語に訳しグーグルに検索し理解してから、日本語に訳すことで翻訳の精度を向上させました。まず特殊の用語の意味を十分に理解し、その上で自分の言葉で表現し、さらに日本語に訳しました。

怎么做➡動画を視聴したり実際に自分の手でデータを扱ったりすることで理解度を深めました。

## この経験から学んだことは？

2つあると思います。1つ目は、エクセルを使ったデータ収集、分析方法について新たに勉強したことから、知らない分野でも積極的に挑戦することの大切さを学びました。2つ目は、専門用語の翻訳に関して、まず英語に訳すことで翻訳の精度を上げた経験から、柔軟にやり方を変えることの重要さを学びました。

## この経験をどう仕事に活かせたい？

私は、これまでに困難に立ち向かい成長してきた経験を活かし、新しい知識や技術を武器に、お客様に貢献していきたいと考えております。この職種は常に技術の更新が求められるので、自分自身のITとビジネス知見の専門性を磨き続けたいと考えております。

# あなたの短所

私の弱みは「頼みごとを断れないこと」です。長期インターンシップで、頼まれた仕事を全部引き受けてしまい、結局うまく時間配分できず、期限までに成果を出すことができなかった経験があります。このような反省から、仕事を任される際に、自分で仕事に重要度と緊急度を考え、優先順位をつけた上で、「断わるときはきっぱり断る」ことを心掛けています。これからにおいても、1つ1つの業務の優先順位を意識しながら、着実に進めたいと考えています。

# 座右の銘

水滴石穿

水滴も同じ位置に落ち続ければ、いずれ石に穴をあけることができるという意味ですが、地道に努力することが大事だと教えてくれる言葉です。

# 何か困難な経験や挫折経験はあるか 挫折経験

大学院進学をきっかけに、TOEIC試験の受験を決意し、850点以上を取るという目標を設定しましたが、1回目の受験では750点しか取れませんでした。自分の目標まであと100点差があると考えると挫折感がありましたが、もう一度挑戦することにしました。そして、試験結果を見直し、問題点は語彙力と回答速度とリスニング力にあると分析しました。それぞれに対して、知らない単語をメモし、頻出単語リストを整理しました。さらに、パートごとに時間を決めることで時間をコントロールしました。最後に、空いている時間をフル活用し、リスニングのインプットを増やしました。2回目受験した結果、前回より135点が増え、885点を取得しました。この経験から、失敗や挫折を成長の機会として捉え、前向きな姿勢で頑張ることの大切さを知りました。

# 日本語はどうやって勉強しましたか?

教科書の勉強と実践の二つの面から説明したいと思います。

まず、勉強の方法に関して、読む力を身につけるために、日本語の新聞や、小説を読んだりしました。聞く力をつけるために、シャドーイングしたり、YOUTUBEを見たりしています。実践では、アルバイトや語学交流アプリで日本人と話したり、授業で積極的に発言したりしました。

# これからの人生で大切にしたい事は

人との繋がりが強固な人間でいたいです。社会人になったら様々な属性や年齢の方と接する機会が格段に増え、そこの人間関係が自分の人生を充実させると考えました。15年間のサッカ一経験で、教えてくださった監督やチ一ムメンバーなどと、違う立場から同じ目標に向かって努力してきました。たとえ思う通りに結果が出なくても議論を重ね汗を流した過程は忘れられないものです。このような経験から、人と人の繋がりの間に生まれる感情や思いを大切にしていきたいです。

# 英語スキル、TOEICはどのくらいか 活用した経験

2020年10月に、初めて受験し775点数しか取らないことになりました。3ヶ月後、前回より135点数が増え、885点数を取得しました。

グループワークと発表

# キャリアプランについて

将来はプロジェクトマネジャ一を目指したいと考えています。

短期的には、プロジェクトの経験を積み、SEとしての専門性を高めたいと考えております。業界に対する知識を増やし、技術者になるために基礎を構築したいと思います。

長期的には、プロジェクトリーダーとして、チ一ム全体の進捗管理などに携わり、マネジメント能力を身に付けたいと思います。

その経験を生かし10年後は、お客様に信頼されるプロジェクトマネジャ一として活躍したいと考えています。

プロジェク卜マネージャー

全体を把握・理解でき、語学力、海外人材との交流能力、的確に状況を分析・判断できる能力に加えて高い人間力が求められます。

# プログラミング経験はあるのか

授業で少しだけ勉強したことがあります。大学時、「PYTHONの基礎知識」の授業で、Pythonの基礎知識や環境構築手順、Pythonを使ったプログラムの書き方などの内容を勉強しました。そして、大学院の時に、「テキストマイニング論」の授業でPythonを用いて「Twitterのコメントの感情値と株価指数は一次関数」というテーマに取り組んだ経験があります。具体的には、Twitterのコメントを収集しpythonに導入して、コメントの感情値の合計を計算し各日の感情値とすることにしました。そして、各日のコメント感情値とその日の日経平均株価は一つのExcelファイルに作成しpythonに導入して、Twitterのコメント分析によって得られた感情数値を独立変数とし、目的変数はその日の株価の値として単回帰分析を行いました。

# なぜIT

私が成し遂げたいことは、「IT技術を駆使し、社会的弱者を支援し、より暮らしやすい社会に寄与すること」です。このように考えたきっかけは、新型コロナウィルスの流行により、来日できず、母国に取り残された私は、オンラインツールを通じて授業に参加し、研究を進めることができました。この経験から、IT技術が確実に人々の暮らしを良くしていることを実感し、IT技術なら社会的に弱い立場にある者を含め、誰もが生き生きとした世界を創ることができると考えたため、IT人材になりたいです。

# 就職軸

3つがあります。1つ目は、ITの力を使って社会に貢献したいです。このように考えたきっかけは、過去経験から、IT技術が確実に人々の暮らしを良くしていることを実感し、IT技術なら社会的に弱い立場にある者を含め、誰もが生き生きとした世界を創ることができると考えたため、IT人材になりたいです。2つ目は、成長を続ける環境で自分を高めたいです。高い目標に対してひたむきに努力し、振り返った時に積み上げられたものを見た時に私は幸せを感じます。そのための成長をサポートし挑戦をし続けられる環境が私には必要だと考えています。3つ目は、幅広い業界の人と関わりたいです。15年間のサッカ一経験から、結果や成果に囚われすぎず、人と人の繋がりの間に生まれる感情や思いを大切にしていきたいです。